

E. coli由来ルシフェラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1253

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ルシフェラーゼは、Mg²⁺-ATPおよび酸素の存在下でルシフェリンから光を生成する反応を触媒する酵素です。この酵素がルシフェリン、ATP、およびO₂と反応することで光が放出されます。ルシフェラーゼの活性は、イソフルランやケタミン/メドミジンを含む全身麻酔薬によって抑制される可能性があり、これにより生物発光イメージングの感度に影響を与えます。

別名 フォティナス・ルシフェリン 4-モノオキシゲナーゼ (ATP加水分解); ホタルルシフェラーゼ; ルシフェラーゼ (ホタルルシフェリン); フォティナス ルシフェリン 4-モノオキシゲナーゼ (アデノシン三リン酸加水分解); ホタルルシフェリン ルシフェラーゼ; フォティナス・ピラリス ルシフェラーゼ; EC 1.13.12.7; 61970-00-1

製品情報

種	大腸菌
由来	大腸菌
外形	白色凍結乾燥物
EC番号	EC 1.13.12.7
分子量	ca. 60 kDa
活性	> 1.0 x 10 ⁹ 相光単位 (RLU)/mg 凍結乾燥物 特異的活性: 1.4 x 10 ¹¹ RLU/mg 精製タンパク質
pH安定性	6.0-9.0
最適pH	7.0-8.5
熱安定性	約40°C以下
ミカエリス定数	1.9 x 10 ⁻⁴ M (ATP) 1.5 x 10 ⁻⁴ M (D-ルシフェリン)
構造	約60 kDaのモノマー (SDS-PAGE)
単位定義	1相光単位 (RLU) は、30°CおよびpH 7.8で20秒間に1カウントの光を放出する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで
安定性	25°Cで少なくとも5日間安定 (液体形態)